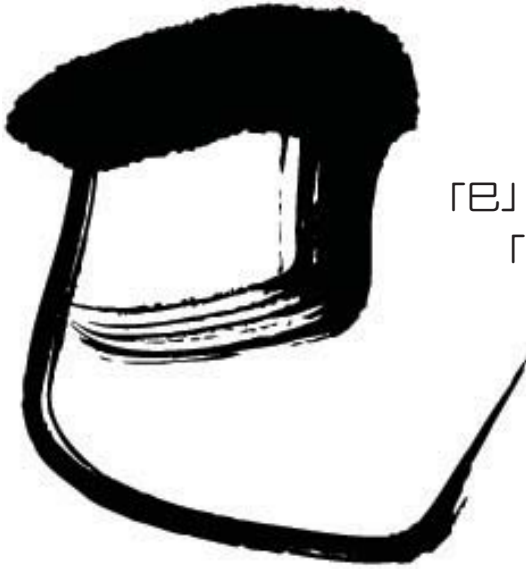


西暦2013年「巳（み）年」

へびは神様の使い？



「巳」（み、し）という字は、胎児の形を表した象形文字で、「起こる、始まる、定まる」などの意味があります。

「巳」を動物にあてはめると「へび」ですが、へびは古来より信仰の対象とされており豊穰神、天候神などとして崇められてきました。



また、へびは脱皮をすることから「復活・再生・健康・長寿」を連想させ、餌を食べなくても長く生きることから「神の使い」として崇められ、全国各地にへびを神様として祀っている神社があります。

たとえば、

へびを従えている七福神のひとつ「弁財天」は、財と富をもたらす、美と知恵と音楽の女神として信仰されています。



こんなありがたいへびも、年を追うごとに見かける機会が減っているように感じます。へびのように一皮むけた新たな心で輝かしい年としていきたいものです。

広報こしみず No.658

2013年1月1日発行